

「鳥取県建設工事関係者労働災害防止連絡会議」を開催

～「働くことで生命が脅かされたり、健康が損なわれるようなことは、本来あってはならない」～



「鳥取県建設工事関係者労働災害防止連絡会議」全景

鳥取労働局（局長 ^{かわのすみとも}河野純伴）では、平成26年9月8日（月）に同局4F大会議室において、国土交通省や鳥取県の公共工事発注機関と建設業労働災害防止協会鳥取県支部の関係者を招集して「鳥取県建設工事関係者労働災害防止連絡会議」を発足させ、初めての会合を行いました。



挨拶する北代部長

会議冒頭、北代昌巳^{きただいまさみ}労働基準部長から挨拶があり、「最近の労働災害の傾向」と「これまで鳥取労働局が別々に開催していた国土交通省と鳥取県との連絡会議を合同で開催する趣旨」について触れ、鳥取県内でも減少傾向にあった労働災害が平成26年に入って増加傾向に転じたことから、関係者が緊密に連携して、労働災害防止対策を進めていく必要があると説明されました。

会議では、本会議設置要綱及び分科会規約の承認が行われ、続いて、鳥取県内の労働災害の発生状況や監督指導結果等について鳥取労働局の担当からそれぞれ説明があり、また、本年11月7日から年末までの55日間展開することとしている『「ゼロ災55」無災害運動』においても、本会議が協賛者になることの確認が行われました。

さらに、今後の協議事項等について意見交換が行われ、鳥取県が毎年行っている職員に対する労働災害防止研修会に国土交通省の職員も参加することや、労働災害について情報の共有を図ること、また、『「ゼロ災55」無災害運動』の行事の一環として、本会議メンバー等による現場安全パトロールを11月7日（金）に実施すること等の検討を行いました。

本年度は、「第12次労働災害防止推進計画」の2年目であり、計画の数値目標の達成に向けて、関係者でその意識の共有を図ることをお願いして、本会議を終了しました。

建設業の労働災害が増加中！

STOP 労働災害

墜落・転落や、はさまれ・巻き込まれによる労働災害が増えています。点検・対策の徹底・安全衛生教育に取り組んでください。

労働災害増加の背景には、技能労働者や現場管理者の不足などがあるのではと懸念されています。こうした観点も踏まえ、現在実施している労働災害防止措置が十分か点検し、個々の労働災害防止措置の徹底に加えて、職長や作業者に対する安全衛生教育を実施してください。

◆労働災害発生状況

